

虹をこえて

『新年のご挨拶』

新年を迎え、謹んでお慶び申し上げます。昨年（新型コロナウイルス）の脅威は収束せず日本国内での発症確認から三年が経過しました。昨年「2022 FIF Aワールドカップ」カタール大会で日本代表が善戦し心弾ませた方も多いのではないのでしょうか。日本代表はこの四年に一度の大会に七回連続出場という記録を書きかえています。

当法人も継続して行うことで活動を広く知ってもらおうチャンスを頂いており、コロナ予防対策で自由を制限される中、各種の取組みや活動等を企画してきましたが、中止や順延が続くストレスも多い年でした。そんな辛く厳しい時だからこそ、みんなが一丸となってチャレンジし、今年は楽しい一年にしたいとの想いがあります。

当法人の二〇二三年目標（願い）は「一陽来復」として「苦境をチャンスと捉え明るい未来に希望を持って取り組んでいきたいと考えています。今年、主な行事として春は「虹まつり」夏は「夏まつり」秋は「松永みんなの生きよう考えよう」をコロナに負けず感染対策の方法を工夫しながら本年も「地域と共に」をテーマに地域共生社会の実現を目指し、挑戦して参りたいと思っております。今年は皆様にとって笑顔多き実りある年となりますよう、お祈り申し上げます。

二〇二三年目標（願い）
いちようらいふく
一陽来復
『悪いことが終わって幸運が訪れること』

第8回スペシャルオリンピックス日本夏季ナショナルゲーム・広島



前号で掲載した柔道療法との出会いから始まり、昨年十一月四、六日の三日間、二〇二二年第八回スペシャルオリンピックス日本夏季ナショナルゲーム・広島（柔道競技）の進行係として我々虹の会スタッフも参画しました。今大会より柔道競技をはじめとして、音響機器等や競技上の司会進行がスムーズに展開できるよう緊張の中での格闘要素だけではなく、礼儀作法・ルールやマナーの学習を目的として、選手たちの頑張る姿や笑顔を見てホッとすることができました。



また大会サポーターやゲストとしてプロスポーツ選手が来られ会場が盛り上がりしました。式典では藤原理事長が来賓挨拶をして、ゲストの方と触れ合うチャンスもあり、大勢の方との支え合う中での貴重な体験をすることが出来ました。ありがとうございました。また次につなげたいと願っています。

『障害者虐待防止・権利擁護研修会』



二〇二二年四月に障害福祉サービスの事業者等に虐待防止委員会の設置が義務化された障害者虐待防止法について、虐待防止委員会の企画のもと、法人内職員研修を一月十八日に開催しました。

障がい者の権利を侵害する小さな出来事からエスカレートしてしまいう状況に陥る為、日々の支援の中で一早く今の支援や声掛けなど問題や課題がないか皆で意見交換や情報共有し、一人ひとり確認し合った。身近に資料を置いたり、掲示し、毎日の朝礼や終礼、定期的な職員会議でも気づきや些細なことをすぐに話し合いの場を設けるなど、全職員で取り組んでいきます。

虐待防止委員会 額川朋子

音遊びサロン『楽遊クラブ』



楽遊クラブは音を楽しむ遊びです。2018年7月に音楽を気軽に楽しむ会「楽遊クラブ」を発足し、活動を始めました。主旨・目的は、楽器に触れたり音を出したり歌を唄ったり、音楽を聴いて、音楽を気軽に楽しむ。そして自分の居場所作りや心の拠り所となり、自己表現の場をつくる。さらに目標を設定して発表の機会をつくり、未来の夢につなげていく。このような目標を掲げ地域の子供たちや小中高の学生さんを対象として活動を行っていきたい。ここ3年はコロナによって実施が出来なかつたが、今年から徐々に再開していきたく考えています。『世の中がコロナによる被害で様々なストレスを抱える中、今だからこそ』感染対策をしながら行いたいと思う。

※ボランティアさん大募集！
ピアノ2台、電子ピアノ、キーボード、シンセサイザー、ドラム、電子ドラム、ボンゴ、コンガ、大太鼓、ギター、ハンドベル、ミキサー、アンプ、スピーカー、マイク設備など本格的な設備を用意しています。どなたでも参加していただけます。二月の開催日が決まりましたら、改めてご案内させていただきます。また参加受付も随時受け付けておりますのでお気軽にお問い合わせ下さい。

活動メンバー募集しています！！
私たちと一緒に音楽を楽しみませんか？



＜年間行事計画＞

- 【松永ブロック】
 - ★第28回 虹まつり（4月頃）
 - ★車いす&アイマスク体験「電車でGO！」（8月頃）
 - ★地域交流 夏祭り（夜店）（7月頃）
 - ★地域防災&車いす&アイマスク体験「我が街知っとこ隊」（10月頃）
 - ★第32回松永みんなで生きよう考えよう（11月頃）
 - ★ふれあいミニコンサート（ZERO & Jjump）（2月頃）
- 【北部ブロック】
 - ★青空広場（5月頃）
 - ★夕涼み会（8月～9月頃）
 - ★古民家フェスタ（仮称）など
- 【全体】
 - ★チャリティーコンサート



「人生の小休止」
私が二十代の頃、社会人として仕事も少しづつなれ、自信が付きかけたとき突然、体調をくずし一年間の闘病生活を送ることになり、ショックで落ちこんでいた時、ある人が（当時勤務先の社長）従業員の寄せ書きをもって見舞いに来てくれた。その真ん中に「人生の小休止」と書いてあった。『よくよくするんじゃない。君は特別に選ばれて将来立ち上がるための準備をする時間をもらえたのだよ。』と言ってくれました。

自分自身、人生の再出発になった上、そのことが今の自分があるのではないかとと思う。それから苦境ある時こそ、大きなチャンスがあるのではないかと心にかけている。

二〇二三年一月
田舎人 博山

【ご寄付・ご寄贈】

- 瀬戸ボランティアグループなかよし 様
 - 河本 多恵子 様
- 皆様のご厚情に心より感謝申し上げます。



今年の干支うさぎ（なかよし様作）
毎年ありがとうございます

◆法人事務局 <http://nizinokai.or.jp>
〒729-0106 広島県福山市高西町4丁目3-69
TEL: (084) 933-0927 FAX: (084) 933-0985

◆各事業所（障がい福祉及び介護保険）

- ジョイジョイワークたかにし（生活介護）
- ジョイジョイワーク加茂（生活介護）
- ジョイジョイワークはあとふる（特定相談）
- ジョイジョイワークすばる（生活介護・通所介護）
- ジョイジョイワークあすか（GH/短期入所）
- ジョイジョイワークなないろ（GH）

明日の日が待ち遠しい一日を創造する

社会福祉法人 虹の会

コミュニケーション部会 研修

意思決定支援について取り組む中、我々が二〇〇八年から取り組んでいる「会話表（通訳ブック）」の取り組みについて一月十八日にコミュニケーション部会の企画にて研修会を行った。会話表の取り組みを始めたきっかけは、言葉や文字、身振り手振りで意思や感じていることを伝えることが困難な利用者さんの思いや感じていることに早く気が付き支援に活かしたい、特に「早い、痛いことは、早く気が付き一刻も早く不快感や不安感を取り除きたい」と思っていたことからでした。

利用者さんやそのご家族、支援者相互の安心感。世界観を広げ、豊かな生活ができるようにする。理解者を特定ではなく多数に増やすことを目的として全事業所で重要支援ポイントとして取り組んでいくことを再確認し引き続きチームで取り組んでいくことになりました。支援者サイドで物事を捉えていないか、「いつもこうだから」「利用者さんのためだから」など決めつけやパターンリズムに陥っていないかなど考えさせられた職員も多かったようです。

私たちは、利用者さんの表情や様子、仕草、顔色、声などで発信した些細なシグナルを見逃さず、しっかりと受け止め、支援に活かすことが大事です。そして支援者は、日々学ぶこと、判断材料をたくさん持つことが必要不可欠です。支援者の気づきや対応で利用者さんが長く苦しむか早く安心し楽になるかは、私たち次第だと言っても過言でないと思います。これからも利用者さんやご家族、先輩、他の事業所の方、ボランティアさんからたくさん学ばせて頂きたいと考えています。

コミュニケーション部会 神竹志保



ジョイジョイワーク加茂 230HOLM展示販売



230HOLM展示風景



二〇二三年新年を迎え、新たな気持ちでスタートしました。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

加茂では、昨年十一月十八日から五日間、駅家町坊寺230HOLMにて展示販売を行いました。HOLMのお客様も展示を観られて、当施設を知って頂くことができました。一九九九年に加茂をスタートして現在までの活動内容を写真パネルで説明をしながら一緒に活動をする仲間が増えればとお声もかけさせて頂きました。今回レザークラフトや古布、絨などの布製品などの自主製品や絵画や創作作品などの展示と販売を兼ねてお披露目しました。

創作作品では、兎の絵に小さく切った布を貼り付け二〇二三年の干支の兎をみんなで作った物を展示しました。

個人個人のカラーの兎ができ、お客様から「何かこの絵を見ていると涙が出て止まりません」「どうしてこんな感じの絵が出来るのかな」「感動・感動です」と嬉しいお言葉も頂きました。今回のイベントはコロナ・コロナで通常の活動が出来ない事で悩んでいましたがお声を掛けて頂き当施設の活動内容など知って頂いた事を感謝しています。

これからの活動を通じて励みになると思います。加茂一同これからも元気で多くの皆様へお披露目出来る事を願っています。

ジョイジョイワークたかにし 新たな体力づくりに挑戦！



イメージ写真

たかにしでは、利用者さんの体力づくりに力を入れて取り組んでおり新しい試みを行っています。昨年からは元格闘家の富田恵子先生を講師として身体障がいの子先生を中心とした運動の運動を週に3回行っています。てんかん発作や一人では歩くことが出来ない方やふらつきのある方が安心して歩いたり運動したり出来るようにと環境構築を新たに取組んでおり、リハビリマットや運動器具の研究を早急に行っています。左記の写真のような物があつたらいいなと取り入れられるように頑張ります。

『地域防災対策を考える会 地元自治会・虹の会 合同避難訓練開催』



前回の「虹をこえ」当日は、二つの自治会で「第一回目の打合せ会、子ども会、消防団、会・意見交換会までのご大学生、地元民生委員紹介をしましたが、第二さん、虹の会の関係者回目を打合せ・意見交換など約一〇名での合会を経て、昨年十一月二合同避難訓練となりました。十三日に合同避難訓練を行いましたのでご報告いたします。

第二回目の打合せ会・地域の行事や地元の福祉祭りなどで紹介してのホームページでこの※別紙合同訓練の歩み災について研究をされに当日の紹介をしてい

学部健康福祉科学科准教授(博士)の古山周太朗先生が急遽、福山へ来られ、地域防災について研究されている内容等をご教示下さり、当日は、研究チームの研究員、学生さんの四名の方が合同避難訓練に参加されました。

ジョイジョイワークすばる／カランコロン堂 新商品販売開始！



あずき&とろろ昆布 新発売！

すばる・カランコロン堂は、生活介護・共生型通所介護・福祉ショップを運営しています。活動が制限される中、コロナ感染対策をしながら出来る限りの活動を行ってまいります。今年は新たな活動への挑戦、基盤作りを頑張りたいと考えています。この三年間で第二実習場での活動や車両を新たに増やし活動の広がりや工夫次第で継続して行える実感しています。事業所内での環境整備の次は、コロナ禍ではありますが、地域へ目を向けていきたいです。利用者さんが作る「カランコロンせんべい」を地元の売店等で常設販売させていただいております。販売、販路を拡大し、出会いを大切にしていきたいと思っております。突然、営業に伺うかもしれませんが、お話を聞いていただければ幸いです。また、カランコロン堂では、たこやき販売等の飲食営業も行っています。地元産の食材確保のためにも、事業所でも家庭菜園規模からでも農業にチャレンジしてみようと考えています。

広島ドラゴンフライズ 2/4土・2/5日(エフピコアリーナふくやま)

お問合せは
ジョイジョイワーク
たかにし
9333・0927
ジョイジョイワーク
すばる
「カランコロン堂」
9339・5361

昨年、エフピコアリーナふくやまで開催されました広島ドラゴンフライズの試合応援を行いました。今年も、二月四日(土)・五日(日)の試合に出店いたします。出店販売のボランティアさんも募集中です。一緒に楽しみましょう。



カランコロン堂外販販売風景

ケアステーション誕生



たかにしに昨年、2階に「ケアステーション」ができました。事務作業や会議などしていても利用者さんの動きなどを確認することができ何かあればすぐ駆け付けられます。利用者さん職員も安心です。

J-jump(バンドメンバー募集)



一緒にバンド活動をしてくださる方、募集しています。楽器や練習場所があります。虹の会を音楽で盛り上げて欲しいです。